

**令和 8 年度 第 1 回生野区区政会議
まちの未来部会**

- 1 開催日時
令和 8 年 6 月 11 日（木） 19 時 00 分～
- 2 開催場所
生野区役所 6 階 604・605 会議室
- 3 出席者
(区政会議委員) 6 名
平島委員、大久保委員（オンライン）、中村（寛）委員、須郷委員、松崎委員、吉住委員
(その他関係者) 2 名
西村委員、安藤委員
(生野区役所) 7 名
齋藤生野区長、大川副区長、宮城総務課長、中條地域まちづくり課長、竹中まちづくり推進担当課長、金田区政推進担当課長、保井区政推進担当課長代理
- 4 議事
(1) 令和 7 年度生野区の取組振り返りについて
(2) 本日の意見交換の主なテーマ
- 5 報告
(1) 区政に関する意見交換会の開催について
(2) その他
- 6 配布資料
 - ・資料 1 令和 7 年度生野区の取組について～振り返り～
(全体会・各部会共通)
 - ・資料 2 本日の意見交換の主なテーマ
 - ・資料 3 中学生を対象とした区政に関する意見交換会について
 - ・資料 4 「区民わがこと SDGs」の推進にかかる区ごとの SDGs ゴールの選定
 - ・参考資料 1 事前にいただいたご質問等と区の考え方、対応

7 会議内容

○金田区政推進担当課長

それでは、皆さまお待たせいたしました。お時間になりましたので、ただ今から、令和8年度第1回生野区区政会議まちの未来部会を開催させていただきます。

本日はご多用のところ、また台風の影響において急な日程変更にも関わらず当会議にご出席いただき、ありがとうございます。私は、この4月に区政推進担当課長へ着任しました金田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

さて、本日ご出席の委員の皆さまをご紹介します。委員名簿の順でお名前をお呼びいたします。

平島委員でございます。

○平島委員

平島です。よろしくお願いいたします。

○金田区政推進担当課長

オンラインでのご参加になります、大久保委員でございます。

○大久保委員

大久保です。よろしくお願いいたします。

○金田区政推進担当課長

中村委員でございます。

○中村（寛）委員

中村です。よろしくお願いいたします。

○金田区政推進担当課長

須郷委員でございます。

○須郷委員

須郷です。よろしくお願いいたします。

○金田区政推進担当課長

松崎委員でございます。

○松崎委員

松崎です。よろしくお願いいたします。

○金田区政推進担当課長

吉住委員でございます。

○吉住委員

吉住です。よろしくお願いいたします。

○金田区政推進担当課長

なお、和田委員、長田委員、杉浦委員につきましてはご欠席です。

本日の会議は、委員定数9名に対しまして6名のご出席があり、定数の2分の1以上の出席にて有効に成立していることをご報告いたします。本日の傍聴者はゼロとなっております。また、本日は他の部会からオブザーバーとしてご出席されている委員の方々がいらっしゃいますので、ご紹介させていただきます。

こどもの未来部会の西村委員でございます。

○西村委員

西村です。よろしくお願いします。

○金田区政推進担当課長

くらしの安全・安心部会の安藤委員でございます。

○安藤委員

よろしくお願いします。

○金田区政推進担当課長

オブザーバーの方につきましては、部会長から求めがあった場合のみご発言いただけることになっておりますので、よろしくお願いいたします。

区政会議に関する本市の規則によりまして、本日出席された委員の方のお名前、発言内容等が公開されます。事務局において会議録を作成しまして、後日、区のホームページ等で公開させていただくほか、会議の様子を収録しまして、後日 YouTube において配信し、どなたでも閲覧できるような形にしていまいりますので、録音や撮影について、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

また本日の会議では様々なご意見をいただきたいと考えておりますが、ご発言内容につきましてはお互いを尊重しながら活発な意見交換ができる場となりますようにご配慮をよろしくお願いいたします。

続きまして、本日の資料についてご説明いたします。「令和8年度 第1回生野区区政会議 まちの未来部会 次第」をご覧ください。そちらに本日の会議資料を記載しております。

まず、資料1としまして、事前を送付しております「令和8年度第1回生野区区政会議資料 令和7年度生野区の取組について～振り返り～」というA4縦の資料がございます。本日お持ちでない方はおられませんか。

次に、資料2としまして、「本日の意見交換の主なテーマ」というA4横の資料。

次に、資料3としまして、「中学生を対象とした区政に関する意見交換会について」というA4横の資料。

次に、資料4としまして、「『区民わがこと SDGs』の推進にかかる区ごとのSDGsゴールの選定」というA4横の資料。

最後に、参考資料1としまして、「事前にいただいたご質問等と区の考え方、対応」というA4横の資料がございます。

資料がお揃いでない場合は、挙手いただければ事務局からお持ちいたします。

では、本日の流れをおおまかに説明させていただきますと、議事1では、資料1の生野区運営方針振り返り、事前にいただいたご質問等と区の考え方を報告し、議事2では資料2の本日のテーマによる意見交換を行っていただきます。報告1では区政に関する意見交換会の開催について、報告2「その他」としまして、資料4「区民わがこと SDGs のゴール選定」をさせていただきたいと思いますので、本日も様々なご意見のほど、よろしくお願いします。

ここで、今年度最初の会議となりますので、4月1日付けの人事異動で生野区役所に新たに赴任した方々をご紹介します。

まず、生野区長の齋藤です。

○齋藤生野区長

齋藤です。よろしくお願いします。

○金田区政推進担当課長

地域まちづくり課長の中條です。

○中條地域まちづくり課長

昨年までは教育担当課長をしておりました。今年度から地域まちづくり課長となりました。よろしくお願いします。

○金田区政推進担当課長

区政推進担当課長代理の保井です。

○保井区政推進担当課長代理

保井です。どうぞよろしくお願いします。

○金田区政推進担当課長

以上になります。改めてよろしくお願いします。

それでは、これからの議事進行につきましては、須郷部会長にお願いしたいと思います。須郷部会長、よろしくお願いいたします。

○須郷委員

部会長の須郷です。ただいまから、令和8年度第1回まちの未来部会を開催します。区政会議は、地域でまちづくり活動を実際に進めている私たちが、行政とともに生野区の課題解決のためどう取り組むべきかを建設的に考える、そういう趣旨の会議となります。よって、委員の皆さまの個人の感想ではなく、生野区全体を主体的に運営する見方に立って、積極的なご発言をお願いできればと思います。

それでは、開催にあたりまして、齋藤区長からごあいさつをお願いします。

○齋藤生野区長

改めまして皆さんこんばんは。生野区長を拝命しました齋藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中、生野区区政会議まちの未来部会にご出席いただきありがとうございます。先ほど事務局からもありましたが、台風の影響でスケジュール調整にご協力いただきましてありがとうございます。

皆さんご存知だとは思いますが、区政会議は条例に基づいて開催する本当に大切な会議です。区における施策・事業について区民の皆さまからご意見・評価をいただき、立案段階から意見を把握して、しっかりと反映させ、また、区政の実績や成果の評価に係るご意見も頂戴していくということを目的とした会議となっております。まちの未来部会のテーマは、まちの魅力や地域活性化等の分野で、生野区に来たい、住みたい、住み続けたいと思っていただけるような、魅力あるまちづくりをめざした取組となります。そのためには区民の皆さまや、委員の皆さまの知恵やパワーというのが本当に大切かと思っておりますので、ぜひ忌憚のないご意見をいただけたらと思っております。本日は令和7年度の区政の取組振り返りなどについてご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○須郷委員

ありがとうございました。

それでは、早速、議事に入りたいと思いますが、限られた時間で円滑に意見交換を進めていただけるよう、ここからは学識委員の吉住委員に会議の進行をお願いしたいと思います。

それでは吉住委員、よろしくお願いいたします。

○吉住委員

部会長からご指名いただきました吉住です。これから、皆さまの意見交換のお手伝いをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、会議の次第に沿いまして、「議事1 令和7年度生野区の取組振り返りについて」及び「議事2 本日の意見交換の主なテーマ」について区役所から説明をお願いいたします。

○保井区政推進担当課長代理

区政推進担当の保井です。私の方からご説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

それでは令和7年度の生野区の取組についてご説明いたします。前方のスクリーンをご覧ください。まず、はじめに「生野区運営方針とは何か」ということについて、簡単にご説明いたします。

生野区運営方針とは、区における「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として毎年度策定するものであり、生野区将来ビジョンの実現に向けた毎年度のアクションプランとなるものです。下の図をご覧くださいますとイメージがし

やすいかと思います。生野区のめざす将来像や施策展開の方向性などを示したものが「生野区将来ビジョン」であり、それに向け毎年度のアクションプランとして策定するのが「生野区運営方針」となります。

それでは、「まちの未来部会」の分野についてご説明いたします。詳しい取組内容につきましては、事前に送付いたしました「資料 1」に記載させていただいておりますが、今回は取組結果を中心にご説明いたします。前方スライドか、お手元の資料 1 をご覧ください。

まず、11 ページの経営課題 2 としまして、「にぎわいとiroどり豊かな魅力のあるまち」です。戦略 2-1「リノベーションまちづくり」としまして、「めざす状態」として、まちに魅力的な人・富・場が集積・循環し、様々な業種が新たに創業され、好循環している状態をめざしました。これまでの取組における「めざす状態」を数値化し、アウトカム指標として生野区内の地価公示価格の上昇を、めざす状態として設定した結果、それぞれの価格上昇において達成となっております。

12 ページにうつりまして、具体的な取組としましては、万博を契機にしたまちの活性化として、「EXPO いくのヒートアッププロジェクト」におけるプロモーション事業として、各分野の専門家や地域で活躍する住民同士をつなぐネットワークづくりや連携強化を図るため、各種イベントを実施しました。また、ものづくりのまち生野の PR や、学校跡地を核としたまちの活性化のほか、空き家スペースを活用した賑わい創出など、様々な業種が新たに創業され、好循環していく取組を実施しました。

次に、13 ページ、戦略 2-2「生野区シティプロモーション」としまして、めざす状態を、生野のまちが「子育て世代に選ばれ、若者が活躍でき、区民が誇りに思えるまち」をめざす取組を進めました。アウトカム指標として 2 項目を設定し、一つ目として、まちの魅力 PR や情報発信等の回数を 20 回以上とし、二つ目として、若年層の人口増を設定し、結果としまして 2 項目とも指標達成となっております。

14 ページにうつりまして、具体的な取組としまして、「わがまち意識の浸透」をめざし、生野区マスコットキャラクターいくみんの LINE スタンプの PR を行いました。また、「生野の魅力」を「世界の魅力」としまして、やさしい日本語による情報を、SNS を活用して発信するなど取組を実施しました。

続きまして、19 ページ、経営課題 4 としまして、まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進です。めざす状態としまして、安心・安全なまちづくりの取組や、地域コミュニティづくりなど、地域特性に即した課題解決を自律的に進められている状態としました。アウトカム指標としましては、地域活動協議会の構成団体が自律的に課題解決に向けて進められていると思う割合を 90%以上と

しまして、令和7年度は92.2%となっております。

20 ページにうつりまして、具体的な取組としましては、まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進をめざし、まちづくりセンターと協力して各種事業実施などの支援を行いました。

以上が令和7年度の生野区運営方針の振り返りになります。

次に事前にいただいた、ご質問と区の考え方、対応について説明させていただきます。スライドはございませんので、右上に「参考資料1」と書かれた資料をご覧ください。

まず一つめの質問です。くらしの安全・安心部会の長谷川委員よりいただいたご質問です。「各まちづくり協議会への指導について」ということで、「ホームページに掲載されてるまちづくり協議会の活動で各協議会のホームページが更新されてないものが大半ですが指導・推進はしていますか。また、防災・防犯のところにある防災マップも古いものが多いですが指導はしていますか。」というご質問に対しまして、区の考え方、対応でございますが、「区役所では、自律的な地域運営の仕組みであるまちづくり協議会を、中間支援組織（まちづくりセンター）を活用しながら支援しています。地域自ら取り組む広報活動についても、地域の実情に応じて助言を行うなど、引き続き支援を進めてまいります。また、防災マップについては、地域と区役所が連携しながら作成しております。今後も、地域との連携を継続しながら進めてまいります。」という回答をさせていただきます。

続きまして二つ目、こどもの未来部会の足立委員からのご質問でございます。生野工業高校の跡地につきまして、「元は市立だった生野工業高校は、大阪府に移管、無償譲渡された。しかしながら、高校再編の対象校となり、募集停止等を行っている。当初の譲渡の前提である『高校用途としての継続利用』ではなくなる。大阪府が保有、処分するのではなく、跡地については地域住民の意向を聞き取り、防災拠点とするなど地域の安心安全に暮らせるまちづくりに活用できるように生野区が主体的に大阪市・大阪府に働きかけるべきではないか。」というご質問に対しまして、区の考え方、対応ですが、「大阪府立生野工業高等学校については、令和8年度末をもって閉校となり、その後は『大阪府立の高等学校等の大阪府への移管に伴う譲渡財産の取扱いの基本的な考え方』に基づき、大阪府において売却することを基本としています。生野区役所では周辺住民の声をとりまとめ、売却にあたっては購入者を学校教育法に基づく学校とし、災害時の避難所として地域と連携・協力すること、閉校後は、防犯の観点からも速やかに売却手続きを進めていただくよう、大阪府教育庁に対して要望書を提出しています。閉校後については、市会における議論、生野区役所からの要望も踏まえつつ、府市教育委員会のプロジェクトチーム会議において協議が進められることとな

っています。」という回答をさせていただきます。

以上が事前にいただいたご質問等の区の考え方、対応になります。

つづきまして、議事2「本日の意見交換の主なテーマ」です。資料2または前方スクリーンをご覧ください。令和6年度からテーマを設定し意見交換を行っております。今年度もテーマを設定し、皆さまのご意見をお伺いしたいのでお願いします。

生野区におきましては、子育て層や若年層等にも生野の魅力を伝え、生野区により愛着をもっていただける情報を発信する取組を実施しています。広報紙を毎月発行し、全戸ポスティングやHP、SNSを活用して区政に関する情報を発信しておりますが、区役所からの一方的な発信にとどまっております。区民の皆さんがこれらの情報を自分事として捉えていただけていないのではないかと懸念をしており、このような情報をさらに地域の話題にさせていただくためにも、地域内においても、より多くの方に効果的に区政に関する情報をお伝えする手法などあればご意見を伺いたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉住委員

ありがとうございました。ただいま、区役所からご説明がありましたが、意見交換を始める前に、事務局からの説明についてご質問などはございませんか。

なお、ご発言いただく際には、挙手のうえ、お名前を述べていただきますよう、ご協力をお願いいたします。また、さきほど部会長からもお話がありましたが、ご発言は委員のみなさまの個人の感想ではなく、生野区全体を主体的に運営する見方に立って、積極的なご発言及びお互いを尊重する発言をお願いできればと思います。平たく言うと、皆さんいろいろな立場で思いを持って活動されていますから、自分以外の方々も同じであるという認識に立ってご発言をお願いいたします。

では、これから皆さままで意見交換を進めていきたいと思います。今回特にご意見をいただきたいということで、テーマが役所から示されましたので、テーマに沿ってご意見を伺っていきたいと思っております。ただ、いきなり意見を言うていただくのは、なかなか意見が出にくいかなと思いますので、まずはお隣同士2人1組でお話を5分程度していただきたいと思っております。長田委員がご欠席なので、平島委員と中村委員と私の3人でお話ししましょうか。須郷委員と松崎委員は2人で行います。もちろんテーマ以外のことでご意見をいただいても結構ですけれども、基本的には今回のテーマについてお願いします。先ほど区役所から補足もいただきましたが、一方的な発信ということに課題感を感じているということもありましたので、それに沿ったご発言をいただければと思います。なお今からの話し合いについては集音ができないので、YouTubeや会議録に

は反映できないことをあらかじめご了承くださいねと思っております。それでは今から5分ほどお時間取りますので、よろしくお願いいたします。

～隣同士での話し合い～

○吉住委員

だいたい皆さんの思いが出ていたと思うのですが、今から、考えられたことや思われたことなどを含めて自由にご意見をいただければと思います。基本的には挙手制でご発言いただきたいと思います。改めてですが、今日はまちの未来部会ですので、福祉や防犯・防災の情報をどう届けるかというより、どちらかと言うと、まちの魅力や強みをより多くの方に伝えたいということなどに情報の対象がある程度絞られているのではなかろうかという前提でお話しいただいた方がよいかなと思います。区役所からは、一方通行という課題感もあるので、もしその観点でご意見があれば、皆さん共通の認識がありますから、議論がしやすいかなと思います。ここからは思いつかれた方からご発言いただいて大丈夫なのですが、いかがですか。では須郷委員お願いします。

○須郷委員

ものすごく難しいテーマだと思うんですね。区役所さんが一方通行だと思っているのは、例えば長年広報はされていると思うのですが、区民の皆さんからこういう意見が来ているとか、こういう点がすごく気になっているとかということはありませんか。あれば、教えていただきたいのですが。

○吉住委員

区役所からご回答できましたらお願いします。

○金田区政推進担当課長

区政推進担当の金田です。今、須郷委員がおっしゃった通り、区役所では広報紙を発行してイベントなどを掲載させていただいていますが、イベントに来る方がほとんど変わらないという状況になっております。若い世代にも来ていただきたいと思っているのですが、なかなか届いてない部分があると感じております。イベントなどを開催しますが、先ほど申し上げたように、ほぼ同じような方が来られているので、「うまく発信ができてないのかな」「知られていないのかな」と常に考えております。それをもっと発信できて、「広報紙に載っていたね」「こういうことが載っていたんだよ」といった感じで、情報を皆さんに覚えておいていただいて、「これに行こう。」と思えるようにしていきたい。広報紙に載っていたことも一度見ただけでは忘れてしまうこともありますので、「こんなことやっていたんじゃないか」「皆行ったらどうや」と思い出していただき、地域の中でも発信していただけたらと考えております。そういったところが区

役所は弱いのではと考えております。

○須郷委員

ありがとうございます。たぶん、対象が絞られたら、広報の仕方も自ずと絞られてくると思います。でも、毎月配布されている「広報いくの」なんかは、区民の皆さんにお配りするわけじゃないですか。対象が広ければ、効果的な広報というのは相当難しいんじゃないかなと思います。私は昭和の人間ですので、今の SNS とかはピンと来ないのですが、若い人たちの食いつきはすごくいいわけですよ。と言うことは、年齢層やテーマで、広報の仕方を変えた方が効果的だと思うんですよ。全ての皆さんに効果的に広報するというのはたぶん無理だと思うので、今月号は「こういう人たちに特化してアピールしてみよう」として magari。あとは先ほどの 2 人での話し合いで、いろいろなやり方にチャレンジしてみたい。区役所の方も各地域と連携して生の声を聞いて magari とか。松崎委員からすごい提案があったのですが、我々区政会議委員が各地域でちゃんと意見を聞いて、区役所にその声をお届けしてはどうかっていうことをお話されていました。松崎委員、お願いしてよろしいですか。

○松崎委員

松崎です。よろしくお願いします。私が思ったのは、須郷委員の仰られた通り、どのターゲットに対して、どの方法が有効なのか。広報紙が有効な層ももちろんあると思います。若い方たちには TikTok などの SNS が良いと思いますし、年配の方が TikTok を見るかという、そうではないと思うので、年配の方には直接会って、ご意見をお伺いするというのが効果的かと思いました。「何か意見ないですか」というように意見をお伺いする意見交換会みたいな場を地域で開催したら、参加してくださる方もいらっしゃるのかなと思いました。あとちょっと 1 人で今考えていたのですが、製造業の方たちって仕事中に手を止めることができないので、作業しながら耳だけ傾けられるラジオを聞かれているんです。ですので、製造業などのお仕事されてる方に向けてはラジオとかを使うというのも、ちょっと変わっていて面白いのかなと改めて思いました。以上です。

○吉住委員

ありがとうございます。須郷委員が仰ったように、広報紙だけで全ての人に対して情報を効果的に広めるというのには限界があるというのは事実だと思いますので、松崎委員が仰ったように若い方には SNS、そうではない方には直接お話しする場と使う。これもかなりの規模になるので、いろいろと難しいと思いますが、そういった方法を使ったり、製造業の方であれば、耳が使えるのではないかと。ということで、それぞれの相手に対してすみ分けを検討してはどうかというご意見でした。ありがとうございます。これについても、中村委員も含めてご意見があればお願いします。

○中村（寛）委員

中村です。以前の全体会でも、いろいろな言語でラジオの FM 放送みたいなことをしたらどうかというようなご意見があって、すごく良いなと思っていました。先ほど松崎委員が仰っていたように、ラジオだと作業中の方も聞けたり、車でも聞けたりすると思うので、具体的に何かできないのかなというのは前の全体会の時にちょっと思っていました。

「広報いくの」は、私はいつも一通り目を通すようにしていますが、周りの人は天ぷら油を吸うのに使ったりするぐらいで、そんなに活用されていないです。私は人権啓発推進員をしていて、年に何度か定期的にイベントをしています。区役所の方からは「『広報いくの』に載せておきましたから大丈夫です」と言ってもらいますが、全然人が来なくて寂しいです。私が須郷委員に頼んで来てもらうぐらいで、なかなか人が集まらないです。以前は町会とかそういった集まりが定期的にあって、回覧板を持って行った時に少し話したりとかしていたのかもしれませんが、今はそのような人の繋がりが希薄になっていて、先ほどの話し合いでも「班長さんの成り手がない」と平島委員が仰っていました。いろいろな年齢層の方の話を吸い上げて行政に伝えるというのは、今までは町会長さんや連合町会長さんがされていたはずですが、その部分が少し薄くなってしまっているんじゃないかなと今回のテーマをいただいた時にすごく感じました。町会でいろいろなことを聞いてきたとしても、どこに持っていったらいいのか分からないと皆さん思っていると思います。以前は町会長さんたちが苦情だったり、こんなことしたいという意見もちょうんと吸い上げて繋げていた部分が多かったのではないかと思います。それが今はなくなってしまっています。広報紙は広報の一つの手段であって、広報紙に載せているからイベントに人が来るだろうと思うのはちょっと大きな間違いかなと思います。Xなどの SNS で時々情報が上がっているのを見たりもしますが、そこになかなか反応できないところもあるので、どうしたものかと。私たちも区役所の方に「広報紙で広報しています」と言ってもらうので、いつも楽しみにするのですが、来てくれる人がゼロとかね、「広報紙を見て来たよ」という人はなかなかいないというのが現状なので、どうしたものかといつも考えています。だから、先ほどと一緒にですが、ラジオの FM 放送みたいなことをするのは大変だとは思いますが、情報を耳から入れてもらうというのも広報手段にプラスしてもいいのかなと思います。SNS は、Xでたまに区役所の広報ポストを見かけても、「ふうん」で終わってしまって。何か反応して盛り上がったらいいいのかもしれないのですが、なかなか反応できないし、それを見て参加してくれる世代は限られているのかなと思っています。

○吉住委員

ありがとうございます。いろいろな手段がありながらも、今仰られたように、

実際に届くかどうかなど、課題には共通項が結構あるなと思いました。中村委員の言葉を受けて思ったのは、やはり一つの発信源だと限界がありますし、平島委員からは班長さんの例も出されていましたが、発信源のなり手の数がどうしても減ってきてしまうので、発信したいと思える内容をどう作るかというのはかなり難しいことではあるものの、発信する媒体がたくさんあったとしても、それぞれが繋がっていたり、引用して発信しやすいとか、何か他の人も次から繋がりを作れるような仕掛けがあったらいいのかなと思いました。一足飛びに答えを見つけるのは難しいので、何回か我々委員でもチャレンジをしてみて、これだったら無理もせずに繋がるんじゃないかみたいなことにトライしていったらいいんじゃないかとは思いました。平島委員も何かご意見がありましたらお願いします。

○平島委員

平島です。思っていることは皆さんが言ってしまったのですが、私も広報紙はよく見ていて、「こんなあるねんな」と結構参考になっています。でも、他の人にとっては、極端な例を出すとスーパーのチラシと一緒になんですね。キャベツが 350 円、200 円とか載っていたら「安いわ」「高いわ」て、皆さんそんなレベルなんですね。先ほどの話し合いでもちょっと言っていたのですが、それだったら例えば、区役所に保険証などの手続きに行くときめちやくちゃ混んでいるので、広報のことよりも、そこを改良してほしいと思います。

○吉住委員

その思いはやはり強かったですね。でも今回は広報に限ったの論点をお願いします。

○平島委員

すみません。そういうことがあるので、どこか特化したことに対して、うちの地域で言うと、御幸森まちづくり協議会で毎月 1 回会議があるので、そこでイベントのチラシなどを用意してくれたら、「このような子育て相談などが五つありますよ」などと提案できるんですよ。これだけで全部出されると、私たちはもう絞りきれないので、スーパーのチラシは全部情報を出すんですけど、広報紙はやっぱ絞っていかないといけないのかなと思います。

○吉住委員

ありがとうございます。既にご自身でも情報発信する場や会議体が元々違う目的もあっておありなので、その時に来られている方に合った情報を、拾いやすいような工夫があったり、整理しやすいようなものがあつたらいいなということですね。先ほど話したその繋がりを見て、自分も情報発信したいと思う人も、「これは私向けだな」とか、「この人向けだな」とわかる方が良いと思うので、それは皆で今後知恵を絞れることかなと思いました。ありがとうございます。

大久保委員もご意見がございましたらご発言いただけたらと思います。

○大久保委員

大久保です。皆さんの意見を聞かせていただきまして、私の意見も言わせていただきます。

まず、中村委員が仰った、連合町会長や町会長が伝えたらいいという案について、決して否定するわけではないのですが、私の町会でもやはり皆さん高齢でそこまで伝える能力がないというのが現状ですね。今回のテーマを事前に書面であげていて思ったのは、区役所のホームページとかも見るのですが、その先の行こうと思わない。なぜかと言うと興味がわからないからです。なぜ週刊誌や雑誌を皆が買うかという、見出しでつられるわけです。そして次のページに行くとそこでまた謎があり、そしてまた次のページに行くという。ホームページの作り方も、もう少し週刊誌や雑誌社の知恵も借りて、見る人を誘導していくように作ったら、もっと内容を見てもらえると思うんですよ。1 ページ目のメイン画面であまりにもたくさん書き過ぎていて、面倒くさいなってなっている。私自身もそうです。例えば QR コードを載せておいて、それを読み込むと何か出てくるのかなって思わせる、そういう作り方もあるかなと。

あと、私は社会福祉協議会のボランティアもやっています。人的に伝えるというのは、筋道があっているかわかりませんが、ボランティアのコーディネーターの方は高齢者のお宅に行っていていろいろと会話をされているんです。家電の修理してあげたり、いろいろしてあげた後にお話しされるんですよ。そういう方に「このページ見てもらうように言ってもらえませんか」とか伝えて PR 活動をしてもらう。西生野にもコーディネーターさんがたくさんおられて、やる気満々でやっておられますから、そこから広げると、情報が広がるのではないかと。

一般の方には TikTok とかのお話もありましたよね。YouTube とかも何で見るかという「面白そうだから」ですね。そのように興味関心を持ってもらえるようにする。あと、人的にはまちづくり協議会とか区役所とか固いこと言わないで、社会福祉協議会のボランティアのパワーを使うのはどうかなと思いましたので今申し上げました。以上です。

○吉住委員

ありがとうございます。かなり具体的な方法も仰っていただき、ありがとうございます。皆さんアイディアも含めて一通りご意見をいただきましたが、もし追加で言いたいことがあれば、少しだけお時間がありますので、発言いただけます。なければ一旦皆さんからご意見をいただけたということで次の議事に移りたいと思いますが、いかがでしょうか。

須郷委員お願いします。

○須郷委員

皆さんのご意見を聞いていて、広報の課題は地域活動などとも近いと感じました。例えば、町会になかなか新しい人が入らなくなっている。辞める人も出てきています。イベントをしても参加者が減る傾向があるなどの課題があって、広報も似ているように思います。あまりにも対象の幅が広すぎるので、先ほどいろいろな意見が出ていますから、ピンポイントでやることができればいいんでしょうけど。「時代だから仕方がない」などいろいろな言い出したらマイナス思考になってしまうと思います。そこは「継続は力なり」で、やり続けるということがとても大事じゃないかと思います。地域活動をしていてよく感じるのは、世代交代がスムーズにいかないこと。それは先輩の方々が本当によくやられていて、若い人たちが入り込みにくいと言いましょいか、なかなか順繰りとは行きにくい現実があります。今の時代、いろいろなことに共通している課題のような気がしますね。

○吉住委員

ありがとうございます。あと重複しますが、共通項としては、なり手の問題というのはここで言うと、受け取り手の負荷が極力減るような工夫が要るよねという話と、あと情報出す側の負荷も減るような工夫が要るよねとか、届ける人の負荷もなるべく下げて、かつ届ける人自体は減っているので、届ける人自体も探さないといけないよねっていう課題があるということは、もう皆さん共通認識を持ったかなと思いますが、これ全てを区役所に「お願いします」と言っても、これまでたくさんやられている中でたぶん状況を変えるのもなかなか難しいと言いますか、チャレンジもなかなか難しいので、松崎委員が仰ったように、区政会議委員が一步ずつでも試してやってみて変わったかどうかをまずはやってみるところから共有するのが、小さいステップですが第一歩かなと聞いていて思いました。ありがとうございました。

○中村（寛）委員

二ついいですか。「広報いくの」を見ていていつも思うのが、「くわしくはこちら」とQRコードが付いているのですが、これはどの程度反応があるのか、見た人がどれくらいいるのかのデータはあるんですか。データがあるのなら、こういうテーマはQRコードから見てくれる人がたくさんいるんだとか情報が取れるのかなといつも思っていて、どこに聞いたらいいのだろうと思っていたので、ちょっと質問しています。

それと人権の取組で、子どもさんに来てほしいヒューマンシアターというイベントがあるのですが、以前は、区役所から学校にチラシ・ポスターを渡してもらって、子どもたちに見てもらったり、ポスターを貼ったりしてもらっていたと思うんですが、今区役所から学校にそれをお願いするのがちょっと難しいということで、「地域の人が学校に持って行って頼む分には…」というような言われ

方をしたんですね。そう言わずに、ちょっとでもということで今お願いはしているはずなんですけど、やはり子どもに伝えようと思ったら学校で配ってもらったり、ポスターを掲示してもらった方がいいのかなと思います。学校って子どもも父兄も行きますのでね。

さっき二つって言いましたが、もう一つありました。掲示板が地域のあちこちにありますが、この頃あまりポスターなどが貼られていない所が多いように感じています。チラシとかも持って帰ったら貼ってもらったりするんですけど、何も貼ってない掲示板をよく見かけます。掲示板を見ていた人もいないはずなので、情報が届いていないのかなと感じていました。以上です。

○吉住委員

最後の一点は、掲示板がもうちょっと活用されたらいいのにといい思いますが、最初の2点について、特に1点目のご回答が可能でしたら、区役所からお願いいたします。

○金田区政推進担当課長

区政推進担当の金田です。正確な答えはわかりませんが、QRコードの読み取り回数は調べることが難しいと思います。ホームページの閲覧数であればサイトを見た人数なのでカウントできるのですが、広報紙から読み取った数が実際にどれくらいかの情報は把握できておりません。あと学校のチラシについては、先生の働き方改革というのがございますので、配布を依頼するのはなかなか難しいと聞いております。区役所からの情報も配布が厳しい状態になっていますので、なかなか地域の情報が入れられないというのは私達も理解させていただいております。

○吉住委員

ご回答ありがとうございます。では、一旦時間も来ておりますので、意見交換を終了させていただきまして進行を部会長に戻させていただきます。よろしくお願いいたします。

○須郷委員

吉住委員、ありがとうございました。

それでは、続きまして、「報告1 区政に関する意見交換会の開催について」及び「報告2 その他」について、事務局から説明をお願いします。

○金田区政推進担当課長

委員の皆さま、お疲れ様でございます。それでは、報告1及び報告2について事務局から報告させていただきます。

○保井区政推進担当課長代理

資料3もしくは、前方のスクリーンをご覧ください。

令和6年度より実施させていただいている「区政に関する意見交換会」につい

てです。今年度はこれからの生野区の未来を担う中学生を対象として、これまでSDGsに関して、学校で取り組んできたことや今後取り組んでいきたいことなど、自由で柔軟な発想や意見を聴収し、今後の行政としての施策、事業展開を検討していく参考とするため、意見交換会を開催したいと考えております。対象は、区内8中学校の生徒会役員の方を中心に、開催時期は中学生であることを鑑み、夏休みに実施する予定としております。報告1の説明は以上になります。

続きまして、報告2になります。資料4または前方のスクリーンをご覧ください。各区における「区民わがことSDGs」の推進についても、2030年の目標年次を見据えて、更なるブラッシュアップをはかるべく、区ごとの特性・実情と親和性の高いSDGsゴールに焦点を当てた普及・啓発に取り組むこととされております。生野区としてのSDGsゴールの選定を行う必要があることから、SDGs17項目の中から、生野区の基本理念としての異和共生の考えに則り、令和7年度に引き続き、10番の「人や国の不平等をなくそう」を選定することとします。SDGsのゴール選定にかかる説明は以上になります。どうぞよろしくお願いいたします。

○須郷委員

ありがとうございました。

中学生の意見交換会については、ぜひ若い世代の方々の自由かつ柔軟な発想や意見を聴いていただいて、施策・事業に活かしていただければと思います。

その他事務局から何かございませんか。

○金田区政推進担当課長

最後に1点だけご報告させていただきます。本日いただいたご意見につきましては、7月14日に開催されます全体会で部会報告いただき、他の部会の皆さまにも共有いただきます。

部会報告の内容は、事務局にてひとまず整理いたしまして、本日意見交換会の進行を務めていただいた吉住委員と調整させていただきますので、よろしくお願いいたします。事務局からの報告は以上となります。

○須郷委員

ありがとうございます。それでは、本日の会議を踏まえまして、齋藤区長から一言お願いします。

○齋藤生野区長

今日は長時間にわたり熱心なご議論いただきまして本当にありがとうございました。皆さまからの様々のご意見を踏まえて、今後施策に生かしていくということなのですが、5分間という短い間かもしれませんが、お互いに目を見て意見をしっかりと受けとめながら話し合っている熱心な姿を見させていただきまして、皆さんの区政へのアドバイスや、協力していこうという思いをすごく感じさせていただきました。

具体的な意見の中で言いますと、広報ツールをテーマによってもっと戦略的にしっかりと使い分けるべきであろうといったお話がありました。年配の方にはしっかりと直接伝えていく必要があるよねとか、ラジオといったツールを使うなど、広報のやり方には工夫の余地があるよねとか、実際に区政会議委員のメンバーで意見を取りに行ってもいいのかな、などというお話もいただきました。今日いただいたご意見は、まず今日時点の気づきやご意見だと思うので、この場で終わりということではなく、我々もこれを気づきとしてやっていきますし、皆さまもぜひご自宅・地域に持ち帰っていただいて、「こんな話があったんだよ」とお話しいただき、その反応をまた区役所に返していただくということは、今後も引き続きお願いしたいと思っております。それと、背景にある繋がり作りというところに、そもそも課題があるのではというお話もありましたが、本当にそうだなと思っております。今回は広報というものがテーマでしたが、そこでの課題は、地域でイベントなどを実行するにあたって課題になっていることですねとか、広報紙で言いますと、例えば見出しやレイアウトの工夫であったり、QRコードのアクセスデータのお話もありましたが、いろいろなアイデアをいただけたと思います。ものにもよりますが、内容も面白そうでないと伝わらないよねと、そのあたりも今日ご意見をいただきました。広報紙を皆さんご覧いただいていることはありがたいなと思いますが、記事をご覧になられて、見出しをもう少しこうしたらいいんじゃないのとか、そういうことも、今回区役所に投げたから「後は区で考えて」ではなく、今日を契機にまたご意見をいただけたらありがたいと思います。あとは掲示板の活用の話など、本当にもう様々な気づきをいただきました。ただ、先ほどのお話の中でもありましたように、区役所も今パンパンの状態です。人が増えたり、予算が潤沢に増えるとか、そういうことはないのだから、どうメリハリを付けていくか、それは区民の皆さまのアイデアやお力添えがないとできないことがたくさんあるかと思っています。これからはぜひ区政を良くしていったり、皆さんに情報伝えていくためにご協力いただけたらと考えております。いずれにしても、より良い生野区を共に作っていくということで引き続きお力添えを賜りましたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

○須郷委員

ありがとうございました。皆さま、円滑な運営にご協力いただきまして感謝を申し上げます。

区政会議は、生野区の将来について、区民同士が率直に情報交換をし、意見を語りあえる場です。令和8年7月14日には、全体会の開催が予定されておりますので、よろしくお願いします。

それでは、これにて「まちの未来部会」を終了します。皆さまお疲れ様でした。